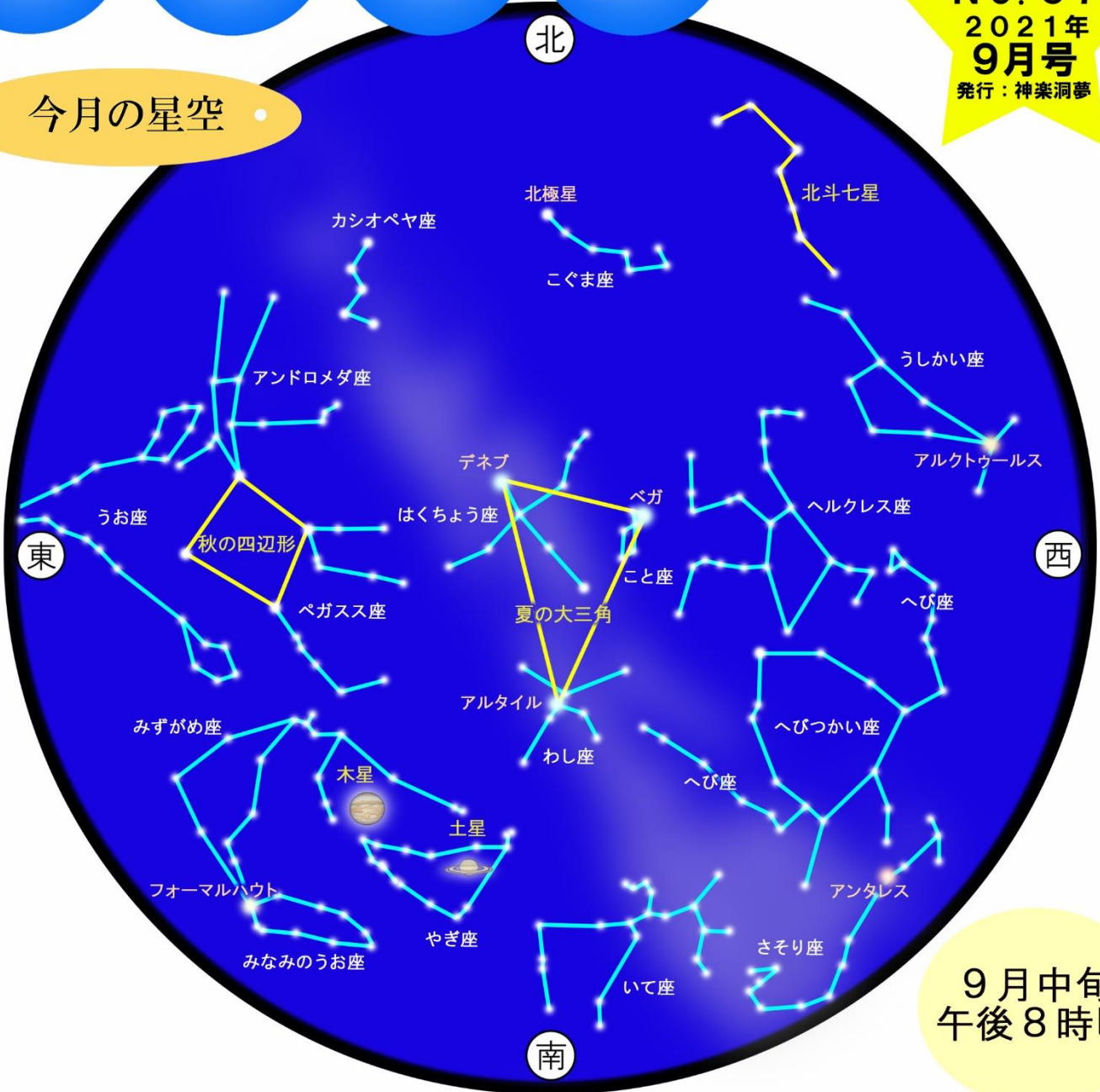


神楽通信

No. 67
2021年
9月号
発行：神楽洞夢

今月の星空

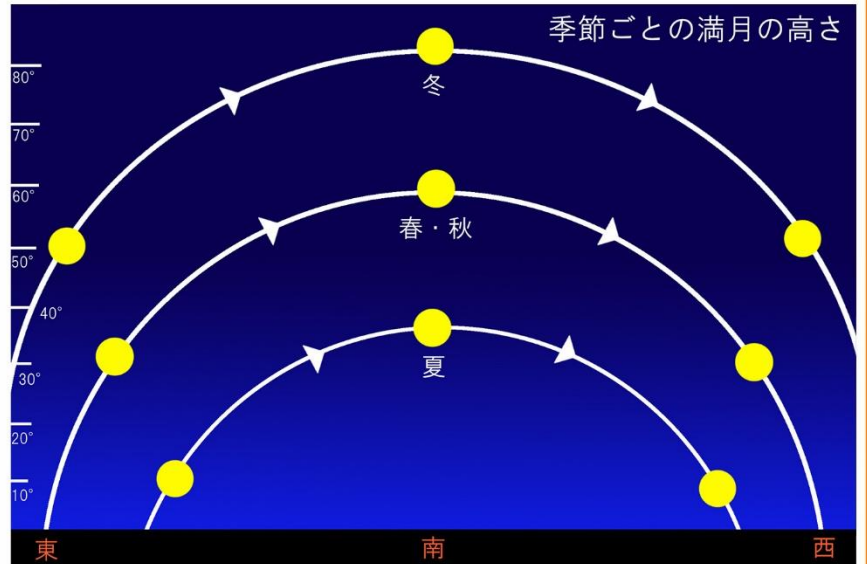


9月中旬
午後8時頃

残暑が続く中、夏の大三角がまだ空高いところ
にあります。東の空には秋の四辺形やカシオペ
ヤ座などが昇ってきています。秋は空気が澄んで
いるため、星や月がとても綺麗に見える季節です。
21日は満月で、この日は中秋の名月です。美し
い月を眺めて癒されてください。

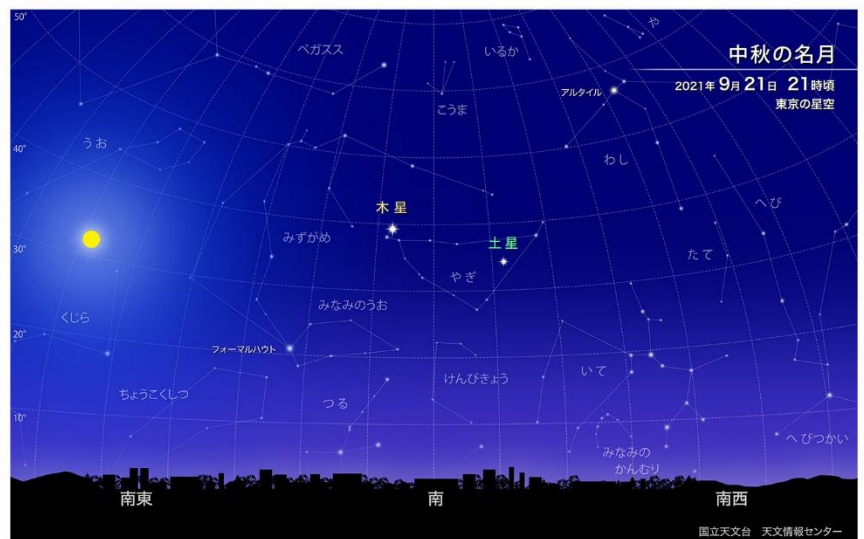
月は一年を通して眺めることができますが、秋の夜空に昇る月は特別です。旧暦8月15日の月のことを中秋の名月と呼び、日本ではこの日にお月見を行う風習があります。なぜ秋にお月見を行うのでしょうか。

秋にお月見をする理由の一つに、「月の高さ」があります。満月の高さは、季節によって変化しています。夏の満月は低く、冬には高く昇ります。低すぎると見る場所によっては建物に隠れてしまい、高く昇りすぎると首が疲れてしまいます。



見上げるのにちょうどいい高さに月が昇るのは、春か秋です。春は空気中の水分量が多いため月がぼやけて見えることが多くありますが、秋は空気が澄んでいるために月が美しく見えます。

今年の中秋の名月となる9月21日は、津市では18時20分が月の出になります。21時頃、月は南東にあり、今年は月と一緒に明るい木星と土星も楽しめるような空になっています。



月は肉眼でも十分楽しめる天体です。当日は晴れていたら、美しい月を眺めてみてください。(原田)